

文部科学省後援

世界遺産検定 認定者の声

もっててよかった
世界遺産検定！



先輩たちが語る
受検のきっかけ
勉強して得たもの
就職活動とこれからのこと

面接中に自分をアピールする 時間が増えました



近畿大学
経営学部
商学科
4年
鶴田 勇臣さん
(旅行業界内定)

業界に関わらず、ほとんどのエントリーシートの資格欄に世界遺産検定について書きました。面接官の多くが検定について聞いてきたので、検定を面接中の話題にして自分をアピールする時間が増えました。また、観光系の企業では努力してきたことが認められるので、取得して良かったです。

公務員試験の時事問題で出題 面接も世界遺産でアピール



神戸海星女子学院大学
現代人間学部
英語観光学科
4年
豊川 円香さん
(国家公務員試験合格)

国家公務員試験の時事問題で世界遺産は頻出のテーマです。検定で得た学びのおかげで貴重な1点を得ることができました。面接カードに世界遺産検定について書いたところ、おすすめの世界遺産を聞かれましたが、一般に知られていないポイントを交えて話すことで、プレゼン能力をアピールできました。

受け答えを想定しておいて 面接を好印象なものに



大阪経済大学
人間科学部
人間科学科
4年
三宅 雄太さん
(金融業界内定)

就活の面接では検定取得の動機についてよく聞かれましたが、受け答えを想定していたので毎回面接官を笑わせることができました。好印象を持ってもらう要因になったと思います。検定で得た知識は、就職後、お客様と会話の親密度を高めるためにも役立つはず。上の級にも挑戦したいです。

面接で世界遺産検定を持って いるか尋ねられたことも



関西外国語大学
外国語学部
英米語学科
4年
住友 帆乃香さん
(小売業界内定)

就職活動の時に、会社によっては「世界遺産検定の資格を持っているか」と尋ねられたこともありました。グローバルに活動する企業であれば、世界遺産検定の資格を持っていることで、「国際的なことに興味のある人間」と考えられ、採用に繋がる可能性もあると思います。

「様々な国に興味を持つ」よう になり視野が広がりました



奈良県立大学
地域創造学部
地域創造学科
4年
N.N. さん
(人材業界内定)

受検して良かったと思うことは、世界遺産検定に向けた勉強をすることで、今まで関心なかった国にも興味を持つようになったことです。受検したことで、今までよりも世界への視野が広がりました。また、海外旅行に行く時は必ずその国の世界遺産を訪れるようにしています。

就職活動の面接を楽しく終える ことができました



甲南女子大学
文学部
日本語日本文化学科
4年
天満 千晶さん
(旅行業界内定)

全てのエントリーシート、履歴書に世界遺産検定を記入しました。必ずといっていいほど面接官が興味を示してくれるので、検定の話から旅行の話になったりと、リラックスしながら自分の好きな話ができて、面接を楽しく終えることができました。また旅行の際、勉強した世界遺産を見た時の感動は忘れられません。



認定者の声

世界遺産を勉強したからこそわかる感動を味わいました



安田女子大学
現代ビジネス学部
国際観光ビジネス学科
4年

松岡 那奈さん
(観光業界内定)



就職が決まり世界遺産保有数が最も多いイタリアを旅行しました。ローマの石の文化やポンペイ遺跡での古代ローマ人の生活様式など、世界遺産を勉強していたからこそわかる感動を味わいました。現在はますます世界遺産に興味をわき、1級にチャレンジしようと日々勉強しています。

どの世界遺産に行ってみたいか想像しながら勉強しました



広島女学院大学
国際教養学部
国際教養学科
4年

A.M. さん
(小売業界内定)



世界遺産からその国について知ること、自分の知らない世界の歴史や国際情勢があることを知り、他国の現状にもしっかりと目を向けるべきだと思いました。試験勉強については、旅行雑誌を見たりして、自分がどこの国の世界遺産に行ってみたいか想像しながら勉強していました。

国籍や文化を超えたコミュニケーションが可能に



明治大学
商学部
商学科
4年

村石 雅貴さん
(金融業界内定)



世界遺産を勉強することで、訪問したことがない国やなじみのない国の文化や歴史、風土を理解することができました。これによって国籍、人種、文化を超えたコミュニケーションが取れるようになりました。これからも世界遺産を通じて世界中の人とコミュニケーション取りたいと思っています。

全問正解になるまで過去問題を繰り返し解きました



甲南女子大学
文学部
日本語日本文化学科
4年

鈴木 沙和さん
(旅行業界内定)



基礎知識に関する問題はテキストを読んで自分なりにノートにまとめ、全問正解になるまで過去問題を繰り返し解きました。遺産に関する問題は、問題を解いた後に、間違えたところや、わからなかったところをテキストを読んで自分なりにまとめ、再度問題演習に取り組みました。

面接では「どんな検定なの？」と必ず聞かれました



西南女学院大学
人文学部
観光文化学科
4年

松本 菜緒さん
(商社内定)



就職活動の際、面接官に「これはどのような検定なの？」と必ず聞かれました。第一志望の面接で「世界遺産検定を取るために勉強した中で、おもしろいエピソードはある？」と聞かれ、『アルペロベッコのトゥルッリ』について話すと、盛り上がった雰囲気の中で面接ができました。

世界遺産の話で面接の緊張がやわらぎました



阪南大学
国際観光学部
国際観光学科
4年

米田 直起さん
(旅行業界内定)



面接では受検理由やおすすめの遺産を聞かれるなど、話のネタになりました。自分自身も世界遺産の話をするときは緊張がやわらぎ、素の自分を出せました。これが内定をもらった大きな要因になったと思っています。今後はさらに知識を増やし、世界遺産だけでなく、周りの地域のことも勉強していきたいです。



次のオリンピックは日本でやるんだって？

オペラ、上演中！

ボンジュール！
あたし、フランス生まれなの！

四川といえば、辛いものと、パンダ！

完成まで、あと6年！

私はどこの国の世界遺産でしょう？